

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	国語	科目	古典B(理系)	学年	2
担当者	成瀬 靖子 島田 朋之			単位数	4
使用教科書	古典B (三省堂)				
使用教材	「新明説漢文」(尚文出版) 「新明説漢文ノート」(尚文出版) 「完全マスター古典文法」(第一学習社) 「完全マスター古典文法」準拠ノート実力養成(第一学習社) 「国語総覧」(京都書房) 古文単語301(尚文出版) 錬成古典改訂版(尚文出版)				
教科・科目の指導目標	・古文では随筆や物語、和歌といった様々な古文にふれることにより、ものの見方、感じ方を広げる。 ・古文を理解するために必要な文法事項や歴史的背景を理解させる。 ・漢文において故事・史伝・詩などにふれることによって、漢文の構造を理解させる。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5日	1学期中間考査	『枕草子』 「ありがたきもの」「すさまじきもの」 「中納言参り給ひて」「雪のいと高う降りたるを」	1年時に既習した内容の総復習。 作者のものの見方・感じ方・考え方について理解する。 敬語や古文独特の表現に気をつけて内容を理解する。	24
5月6日	1学期中間考査	『竹取物語』「かぐや姫の昇天」 「漱石枕流」「王昭君」	歌物語や作り物語の流れについて学ぶ。 助字に注意し、使役、疑問の基本句形・語法の使役と疑問を理解する。	
6月7日	1学期期末考査	1学期中間考査 『大和物語』「姥捨」 『堤中納言物語』「虫愛づる姫君」 『徒然草』 「あだし野の露～」「家居のつきづきしく」	助動詞・助詞の意味・用法についての理解を深めさせる。 助動詞・助詞の意味・用法についての理解を深める。 作者のものの見方・感じ方・考え方について理解する。 助動詞・助詞の意味・用法についての理解を深める。	24
7月5日	2学期中間考査	『史記』「鴻門之会」 1学期期末考査 「和歌十六首」 「古今集仮名序」 『更級日記』「あこがれ 源氏物語五十余巻」	句法に習熟し、訓読や口語訳の際に正確に扱えるようにする。 人間関係に注意して、内容の理解を深める。 和歌の表現・修辞など、当時の美意識を学ぶ。 文化的・歴史的背景を交え和歌の成立を学ぶ。 場面に応じて作者の心情の変化を把握する。	28
10月5日	2学期期末考査	『史記』「鴻門之会」 思想「論語」ほか 2学期期末考査	句法に習熟し、訓読や口語訳の際に正確に扱えるようにする。 人間関係に注意して、内容の理解を深める。 思想の特徴を把握し、「諸子百家」の時代がどのような時代だったかを理解する。	28
12月	2学期期末考査	『大鏡』 「雲林院の菩提講」「花山院の出家」	登場人物の描かれ方や性格に着目して読む。 敬語を使って主語を判断し、登場人物の関係を読み取る。	
12月5日	学年末考査	「弓争ひ」「三舟の才」 2学期期末考査	人間関係に注意して、内容の理解を深める。	
3月	学年末考査	『源氏物語』 学年末考査 「桃花源記」「桃夭記」	登場人物の心情に合わせて現代語訳する。 古体詩・近体詩を比較し、それぞれの特徴を理解する。	36

評価の観点・方法	定期考査・課題テスト 平常点(課題提出・小テスト・ノート確認・授業時の口答発表)
----------	---